

# 安田商工会景況調査報告書

組織番号	0010
商工会名	安田商工会
報告者名	加藤 幹弥

## 1. 調査要領

### (1) 調査対象

ア 対象地区 安田商工会地区内小規模事業者  
イ 調査企業数 30 事業所 (うち小規模事業者数 30 事業所)  
ウ 回答企業数 30 事業所 (うち小規模事業者数 30 事業所)  
(回答率 100.0%)

### (2) 調査対象期間

平成29年7月～平成29年12月  
(調査時点 平成29年12月1日)

### (3) 調査方法

経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

### (4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	4	13.3%	4	13.3%
建設業	11	36.7%	11	36.7%
卸・小売業	8	26.7%	8	26.7%
サービス業	7	23.3%	7	23.3%
合計	30	100.0%	30	100.0%

## 2. 地域内産業全体の景況概要

安田瓦や安田石の地域の特色ある建築関連業と大手製造業者の影響から、建築・製造業では活発な動きがみられ、地域内産業を押し上げている。

商業・サービス業関連では、他の地域同様、苦戦が続いているが、他業種や同業者との連携により現状の打開を目指す動きも見られた。

### 【後継者の状況】

後継者なしの事業所が若干多い結果となったが、後継者がいても、準備に入っていない事業所も多く見受けられた。

後継者 あり	13事業所	43.3%
後継者 なし	17事業所	56.7%

### 【売上高】

前年・前期ともに増加傾向を示した事業所では、見通しについても増加との明るい傾向であった。

事業規模や業種により差はあるが、良いところはいい、悪いところは悪いと、はっきりした結果となってしまった。

#### 前年同期比

増加	不変	減少
10	8	12

#### 前期比

増加	不変	減少
9	12	9

#### 今後の見通し

増加	不変	減少
7	11	12

### 【採算】

現状は「悪くはない」といった感想が多かったが、今後の見通しについては取引先や設備、景気等の環境変化の懸念材料があり、悪化との回答が増加。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
5	18	7

#### 前期比

好転	不変	悪化
6	20	4

#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
4	16	10

### 【仕入単価】

一部建設関連業種では仕入単価の上昇との回答が目立ったが、地域内では、変化は少ないようだ。

今後の見通しも変化が少なく、取引先との良好な関係構築が伺える。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
7	18	4

#### 前期比

上昇	不変	低下
6	19	4

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
5	22	2

### 【販売（客）単価】

来店者数の減少により、目的の商品以外の併売効果が期待できず、単価の上昇が難しい状況。

新規客の獲得も難しく、客数、単価ともに現状維持となり、収益の増加には至っていない。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
0	27	2

#### 前期比

上昇	不変	低下
0	28	1

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
0	25	4

### 【資金繰り】

通常の営業範囲内での資金繰りには問題は少ないようだが、現在の設備等の老朽化や、突発的な故障等に備える余裕はなく、今後の設備投資にむけ、手持ち資金を心配する声もあり、今後悪化へ転じる可能性があるとの回答であった。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
1	19	10	1	18	11	1	22	7

### 【雇用動向】

従事者数では現状維持の回答が多かったが、人手不足との声も多くなった。若年層の早期退職や、高齢による退職に対応した求人を出しているが、思うように補充ができず、早期に対応しなければ、業務への支障も懸念される。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
2	23	3	3	23	2	1	26	1

### 【景況判断】

前年の調査からは悪化との回答が減少したものの、景況が回復したと実感できる状況には至っていないようだ。

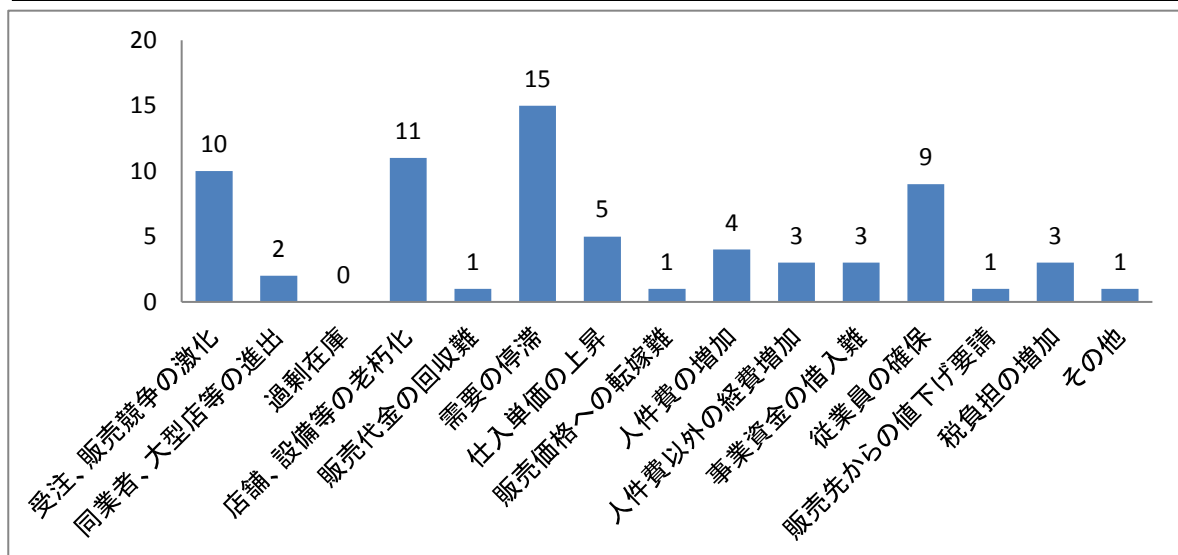
仕入単価も上昇する懸念をもつ事業所もあり、今後の見通しも慎重な意見が多かった。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
4	18	8	3	18	9	3	18	9

### 【経営上の問題点】

受注に直接影響のある問題が多く、収益増が困難な状況が伺える。

また、老朽化する設備への懸念や、人手不足感もあり、思うような経営ができず、収益増へとつなげることができない状況が伺えた。



### 3. 産業別景況概要

#### (1) 製造業

対前年、対上期と比較し、売上や採算については増加・好転との回答が増加してきている。

その反面、仕入単価の増加・受注増に伴う従業員の確保や人件費の増加・設備等の老朽化など、様々な問題点もあり、見通しについては、現状維持との手堅い意見が多かった。

#### (2) 建設業

景況の好転を予想していたが、半期比較では不変との回答が多く、また見通しは悪化との意外な結果となった。

原因は仕入単価や人件費の増加が上がっており、受注は例年通りでも、増加した経費により、収益増とは至らなかったようだ。

また、今後の見通しでも、重機等の設備資金や人件費の増加が予想され、慎重な回答となったようだ。

#### (3) 卸・小売業

小売業では、近隣商店・大型店・ネット等の競合により、厳しい状況は変わらず、新規の顧客確保は難しい。宅配等のサービスで対応しても併売等の効果を失い、客単価を上げることができず、売上の現状維持が続いている。

見通しについても、需要の停滞感が続き、厳しい状況が続くとの回答が多数をしめていた。

#### (4) サービス業

飲食業や理美容業は、近隣の固定客が大半を占めているため、変動は少なく、調査結果でも、目立った動きは少なかったが、人口減や高齢化等の社会的な問題が直結し、固定客の減少により、見通しは良くない。

今後は、新たな需要を生み出すべく、同業種間で連携し、新規の顧客と需要を模索する動きもあった。

(様式⑤)

No.	
-----	--

景況調査ヒアリングシート (平成29年度)

調査対象期間 平成29年7月～12月  
(調査時点 平成29年12月1日)

商工会名	商工会	担当職員名	
企業の概要	業種	1：製造 2：建設 3：卸・小売業 4：サービス他	
	従業員数	1：0人 2：1人～2人 3：3人～5人 4：6人～20人 5：20人超	
	企業区分	1：小規模事業者 2：小規模事業者以外	
	後継者の有無	1：有 2：無	

(1) 貴社の状況についてお答えください。(該当する番号に○を付してください。)

	前年同期(H28年7～12月)と比較して	前期(H29年1月～6月)と比較して	今期(H29年7～12月)と比較した来期(H30年1～6月)の見通し
売上	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少
採算(経常利益)	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化
仕入単価	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下
販売(客)単価	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下
資金繰り	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化
雇用動向	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少
景況判断	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化

(2) 貴社の経営上の問題点(下記より上位3つまでを選び、○を付してください。)

- ①受注、販売競争の激化          ②同業者、大型店等の進出          ③過剰在庫  
④店舗、設備等の老朽化          ⑤販売代金の回収難                  ⑥需要の停滞  
⑦仕入単価の上昇                  ⑧販売価格への転嫁難                  ⑨人件費の増加  
⑩人件費以外の経費増加          ⑪事業資金の借入難                  ⑫従業員の確保  
⑬販売先からの値下げ要請          ⑭税負担の増加  
⑮その他( )

(3) 今後の事業・経営において強化したい点(設備投資・販路開拓等)

--